

2.呼びかけ体制づくり参加者の感想



これまで避難したことがなかった要配慮者の方が避難してくれた。

電話に出ない家は戸別訪問で確認したことが良かった。

大人だけでなく、子供も一緒に避難訓練に参加してくれた。

想定より参加者が多く、皆の意識はかなり高いなと思った。

初めての「呼びかけ」避難訓練は、今後役に立つと思う。継続して訓練し、町内の意識と防災に対する全員の意識を高めていきたい。

防災についての話が活発にでき、地域の河川についての話など、知らなかったことが分かり、勉強になった。

固定電話での連絡がとりにくい。携帯電話で連絡したほうがより確実。

避難経路の上り坂が急傾斜のため、高齢者には避難時の負担が大きい。

避難の準備ができていないと大変そう。日ごろからの準備が大切。

これまで班で集まることはなかったが、班独自で呼びかけ避難について検討する場を設けるなど、地域の繋がりに役立った。

町内会に入っていない人への対応をどうするか。

早めの呼びかけの重要性が分かった。

訓練は1回～2回でなく、たびたびやった方が良さそう。

早めに車で移動できるうちに避難しておくことが大事だと思った。

今回の訓練を契機に、来年度以降も継続して防災訓練に取り組んでいきたい。

呼びかけ開始から避難完了まで、予想以上に時間がかかった。

